

株式会社サニー・シーリング（宮崎県都城市）

「DXは一日にしてならず」
社員がITに違和感を持たない風土へ！

課題・背景

- ✓ 2000年問題への対応：経営層からの指示を発端に、SEではない一社員がオリジナルの生産管理システムを企画し、外部ベンダーと協力して開発＝同社のデジタル化黎明期
- ✓ 全社員での成功体験の積み重ね：社内改善活動の報告を全体朝礼でPPTプレゼンすることで、全社員が普段からPCに触る習慣を20数年継続。対応できない社員には必ずITスタッフがフォローしデジタルの恩恵を全員が享受する形で、コミュニケーションも活発にしながら親デジタルな風土を構築。コロナ過では社員の40%超がテレワークを経験。

改善（進行中） ～全社員による社内改善活動の一環で取組中～

- ✓ 出荷前検査のAI化：2022年にAI機能搭載のインライン自動検査装置を導入し、生産効率140%超。蓄積された品質データから傾向分析を進行中。
- ✓ 品質管理の自動化：2021年、QRコードによる検査表チェック機能をシステム化。
- ✓ 営業・間接業務のDX：2017年にKintoneを導入し、約5年間で業務アプリを200以上開発し「脱エクセル」を加速。2022年にLINE WORKSを導入し、現代風の超スピードコミュニケーションを追求。RPAを活用した請求書送付の自動化も推進中。



IT予算を5倍増、DX推進室も新設し、デジタル化・DXを加速しています。社員一人一人の協力姿勢が最大の推進力です！

（株）サニー・シーリング 代表取締役 窪田祐一氏

成果・嬉しかったこと

地道にデジタル化を進めてきたことが、コロナ禍でのテレワークやWEB営業のスムーズな導入につながりました。今後も、さらに働き方やビジネスモデルの変革を進めていきます。



（株）サニー・シーリング 常務取締役 経営企画室長 久野康之氏

今後 5～10年先を見据え、基幹システムの刷新・クラウド移行を推進中。
全社横断的なDX推進により、効率化・品質向上・技術伝承を強化！

主な事業内容：特殊印刷加工／精密部材加工等

医療、理化学、産業分野における薬品や溶剤に抜群の耐性を誇る「耐溶剤ラベル」等、特殊ラベル製造が強み。素材の自社開発もおこなう。精密抜加工・断裁加工をコア技術に、液晶・光学関連部品など、高付加価値製品も製造。クリーンルーム内一貫生産、生産技術、徹底した品質管理でユーザーニーズに応える。

従業員：110名
HP：<https://sunnysealing.jp/>

